

# 神山と佐那河内の春を散策

毎年どこに行くのかな？と気になる春の見学会。

三月十九日、桜が咲き始め新緑のつぼみが枝につき始めた頃、今年も佐那河内－山神果樹薬草園と、神山－大埜地集合住宅+鮎喰川コモン、WEEK神山、KAMIYAMABEERと盛り沢山の建物たちを訪ねました。

◇まずは山神果樹薬草園から、お天気も良く空の青さに映える建物だなあと思いつつエントランスに入り工場棟と交流施設の間にある通路を抜けると、里山を遠方に見ながら和柑（柚子、すだちなど）の段々畑が広がっていました。当日は松山社長も同席の中、静寂の似合うSHOPにて設計者島津氏から建物概要の説明を受け二班に分かれて、素敵なお散歩MAPと共に建物散策に！

○1コース：工場見学から建物を周遊し、この敷地で一番の里山の絶景が見えるというコンポハウスと畑用更衣室。

○2コース：工場二階の宿泊施設+SHOPにてお買い物。自然に調和した建物を作るとのコンセプト通り、ミナミでキリのないほどの細やかなひっかかりのないデザインロードアップ、グレーと白の壁色分け、階段に落ちる光の落ち方、切り取られた窓から見える絵のような景色たち、薪の美しい積み方、どこに居ても落ち着く静寂の似合う空間に皆さんが惹きこまれて、予定よりも長く居てしまいました。

◇少し急いで次の目的地、神山－大埜地集合住宅+鮎喰川コモンへ。国道から見える川に丸く囲まれた敷地が遠目にも素敵で、そこに丁度よい距離を保つかのように町産材で建てられた景色に溶け込むような建物群がありました。コモンハウスで設計者お二人からのお話－コンクリートの再利用、木材の分離発注、木質バイオマス地域熱供給のしくみ、長く住み続けられるための間取りや素材、浄化槽の水をより綺麗に川に放流するための浄化池の存在など、まだまだ語り尽くせないですが、理想的な桃源郷のような神山の宝物を見せて頂いた気持ちになりました。



山神果樹薬草園全景 と佐那河内の山々



居住スペースで寛ぐ人たち



カフェ予定：交流施設



畑用のOPEN更衣室  
薪の美しい積み方に魅了

◇WEEK神山では、丸太のままを使った柱が引立つ宿泊棟、敢えて神山の木を見せるような様々な工夫が巧みで、身体に優しいランチと共に魅せられました。

◇KAMIYAMA BEER◇BEER作りをされているオランダ人のご主人に素敵なビールを教えて頂いて、厳選しながら4本購入。自宅で旦那様と飲んだBEERはとってもフルティでワインみたいで美味しかったです。又建物の外壁のデザインを描かれたり、ビールのパッケージデザインをされている奥様にお話を聞くことが出来ました。オランダ的な優しくポップなデザインは、脳裏から離れない心が温くなるものばかりでご家族の皆様の温かさと共に癒されました。

佐那河内と神山の山と空の景色に魅了されながら、ご案内頂き出会う方々の温かさに触れ、心安らぐ素敵なお見学会になりました。



大埜地住宅外観



木質バイオマス熱供給システム  
エネルギー棟



鮎喰川コモン内観



神山WEEK



神山BEER  
外観

